

新型コロナウイルスワクチン接種後の遷延する症状への対応について

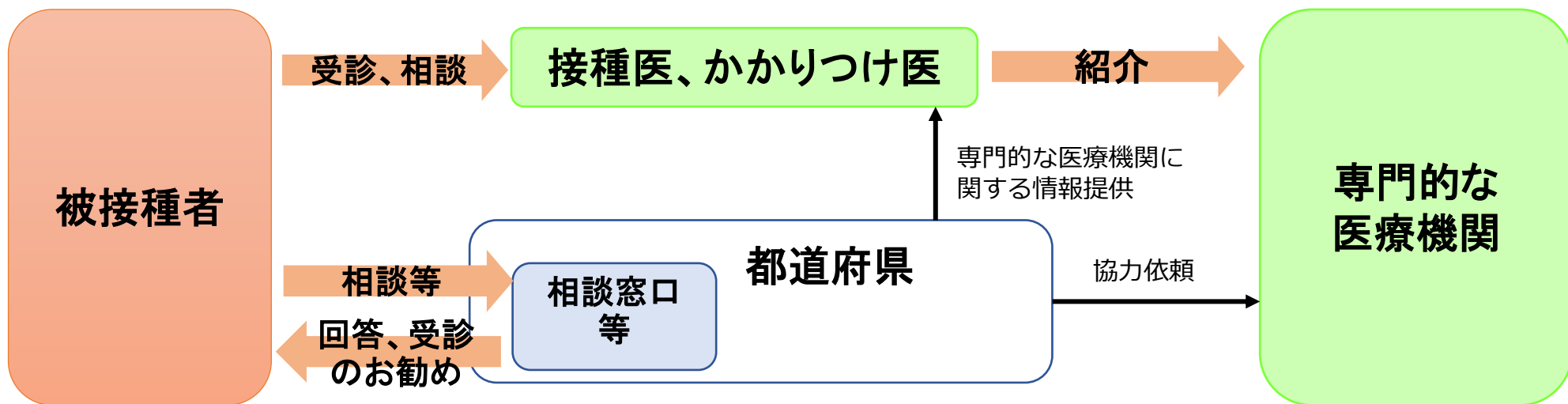
ワクチン接種後の副反応等に対応する医療体制の確保

- 新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状について、被接種者が受診を希望する際は、まず、身近な医療機関（接種した医療機関や、かかりつけの医療機関等）を受診し、受診した医療機関は、専門的な対応が必要であると判断された場合に専門的な医療機関を紹介。
- 必要に応じて専門的な医療機関に円滑に受診できる体制を確保するため、都道府県は、様々な症状に総合的な対応ができる、専門的な医療機関に協力依頼を行う。

まずは、接種を受けた医療機関や、かかりつけ医等に受診するよう促す。

※ 頻度の高い軽度の副反応は、接種医・かかりつけ医等で対応。

診察の上、さらなる対応が必要な場合、専門的な医療機関を紹介。



2024（令和6）年1月26日

新型コロナワクチン接種後の遷延する症状に関する実態調査について （第三報）

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景等）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

新型コロナワクチン接種後の遷延する症状に関する実態調査について（概要）

新規新型コロナワクチンを含むコホート調査並びに副反応シグナル全国調査（分担研究班）

背景

新型コロナワクチンの接種により新型コロナウイルスによる重症例は減ったものの、世間ではワクチン接種後の遷延する症状があるのではないかという意見が散見されるが、その実態は不明である。そのため、新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状について、遷延する症状も含め、実態の把握を行うことを目的に評価を行うこととした。

目的

ワクチンとの因果関係の有無にかかわらず、ワクチン接種後の症状を訴え専門的な医療機関を受診した者の実態を収集、把握し、得られた知見について必要な情報提供等を行うことを、第一段階の目的とする。

調査方法

【調査の方針】

本調査では、まずは受診実態の把握を目的とした記述的な評価（※）を行うこととし、ワクチン接種後の症状を呈した患者が受診した専門的な医療機関に対して調査票を送付し、症例に関する情報を収集・分析することとした。

【調査対象】

※ワクチンとの因果関係を問わず行う調査。

全国の都道府県において、自治体やかかりつけ医等の紹介によりワクチン接種後に副反応を疑う症状を専門的見地から診療する約470の専門的な医療機関が整備されている。このうち「本調査への協力が可能」との回答が得られた193の医療機関を調査対象とした。

【調査方法】

以下の2種類の調査票を作成し、調査を行った。調査対象者は、令和3年2月1日から令和4年5月31日までに受診した者とした。

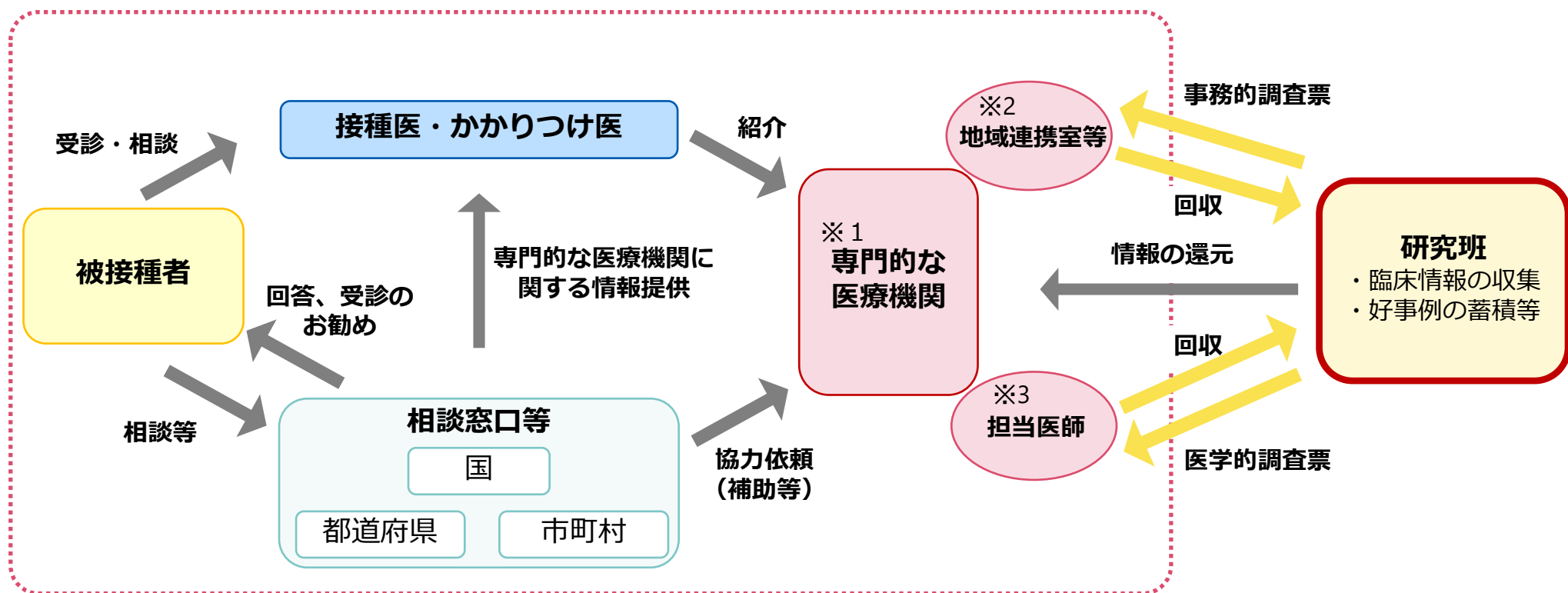
- ① 事務的調査票：性別・年齢・受診した診療科等の受診状況の全体像を把握することを目的に、地域連携室宛に送付。
- ② 医学的調査票：症状や診断や治療の結果明らかとなった病名等医学的な内容を把握することを目的に、医師宛に送付。
- ③ 令和5年2月15日より調査票を送付し、令和5年5月10日までに回答があった報告を評価対象とした。
- ④ ③の回答に対し疑義照会を行い、回答期限内（令和5年8月31日まで）に回答があった報告を評価対象として追加した。

【主な調査項目】

事務的調査票（地域連携室宛）	医学的調査票（医師宛）
発症日、当該症状に係る初診日、当該症状に係る初診日以降の診療科、当該症状に係る初診日以前の診療科、直近の受診状況 等	受診のきっかけとなった症状、当該症状の発現日、ワクチン接種の状況、基礎疾患、当該症状にかかる病名、検査、治療内容、転帰、症状の持続期間、日常生活・就労・就学への影響、経過の概要 等

新型コロナウイルスワクチン接種後の遷延する症状に関する実態調査のイメージ図

* 被接種者が専門的な医療機関を直接受診する可能性もある。



※1 全国の都道府県において、自治体やかかりつけ医等の紹介により、新型コロナウイルスワクチン接種後に副反応を疑う症状を専門的見地から診療する約470の医療機関を整備。この専門的医療機関のうち、事前に調査への協力が可能との回答が得られた193の医療機関を調査対象。被接種者が専門的な医療機関を直接受診する可能性もある。

※2 ※3 専門的な医療機関の受診状況の全体像を把握するために、事務的調査票を地域連携室等宛に送付。医学的な内容を把握するために、医学的調査票を担当医師宛に送付。

新型コロナウイルスワクチン接種後の遷延する症状に関する実態調査結果の概要 (第三報)

全国の専門的な医療機関
(凡そ470医療機関)



事前に調査・研究に協力の同意を得られた専門的な医療機関等^(注)
(当初、193医療機関)



地域連携室等から
得られた回答数
(81医療機関)

担当医師から
得られた回答数
(27医療機関)



212症例

※81の回答施設のうち、
12施設が回答を辞退し、
69医療機関から回答あり

該当症例なしとの
回答があった医療機関
(40医療機関)

該当症例ありと
回答があった医療機関
(29医療機関)



268症例

	事前に調査・研究に協力の同意を得られた医療機関数	地域医療連携室から回答が得られた医療機関数*	担当医師から回答が得られた医療機関数
北海道・東北地方	40	6+7	5+1
関東地方	32	7+3	4
中部地方	31	5+8	4+1
近畿地方	26	3+6	4+1
中国・四国地方	43	3+9	2+2
九州地方 沖縄	21	5+7	2+1

*地域医療連携室から回答が得られた医療機関数は、前者が該当症例ありの医療機関数、後者が該当症例なしの医療機関数

(注) 一部に当初、調査・研究に協力の同意を得られていなかったが、研究期間中に同意が得られ、協力のあった医療機関を含む。

前回の報告（第三報）からの更新情報の概要について

【地域連携室】

	第一報	第二報	第三報（今回）
回答期間	2023年2月15日～3月15日	2023年2月15日～5月10日	2023年2月15日～8月31日
回答施設数(施設)	15	29	29
回答症例数(症例)	128	240	268

【医師】

	第一報	第二報	第三報（今回）
回答期間	2023年2月15日～3月15日	2023年2月15日～5月10日	2023年2月15日～8月31日
回答施設数(施設)	16	21	27
回答症例数(症例)	119	140	212

※第三報では、疑義照会した症例の内、回答があった症例（地域連携室：28例、医師：72例）のデータを加えたものを集計した。
なお、回答があった1例については、疑義照会の結果、調査対象期間外であったため、除外した。

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

地域連携室宛に送付した事務的調査票の回答の全体の状況

(地域連携室宛調査)

<回答依頼施設数、回答施設数、症例数>

回答依頼施設数	回答施設数	該当症例あり施設		該当症例なし施設数	辞退施設数
		回答施設数	回答症例数		
193施設	81施設	29施設	268症例	40施設	12施設

<年齢、性別内訳>

※小数点以下第2位四捨五入

性別	男性	97	36.2%	女性	171	63.8%	合計	268
		0～9歳	0	0.0%	0～9歳	0	0.0%	合計
	10～19歳	13	4.9%	10～19歳	12	4.5%	合計	25
	20～29歳	13	4.9%	20～29歳	21	7.8%	合計	34
	30～39歳	15	5.6%	30～39歳	18	6.7%	合計	33
	40～49歳	11	4.1%	40～49歳	44	16.4%	合計	55
	50～59歳	13	4.9%	50～59歳	34	12.7%	合計	47
	60～69歳	12	4.5%	60～69歳	12	4.5%	合計	24
	70～79歳	14	5.2%	70～79歳	17	6.3%	合計	31
	80～89歳	6	2.2%	80～89歳	11	4.1%	合計	17
	90～99歳	0	0.0%	90～99歳	2	0.7%	合計	2

※事務的調査にあたっては、当該施設の「新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う患者の紹介に対応する窓口」に紹介があり、令和3年（2021年）2月1日から令和4年（2022年）5月31日までに受診した全患者をリストとし、それぞれの患者さんについて事務的な回答を依頼しているものであり、医学的な回答を求めている。 10

それぞれの患者において最も受診回数が多い診療科

(地域連携室宛調査)

総合診療科	41
総合内科	38
救急科	33
脳神経内科	24
総合内科・感染症内科	16
内科	14
皮膚科	12
整形外科	11
腎臓内科	11
神経内科	6
救急総合内科	5
麻酔科	4
呼吸器内科	4
小児科	4
循環器内科	4
脳神経外科	3
耳鼻咽喉科	3
泌尿器科	2
眼科	2

消化器内科	2
ER	2
感染症内科	1
血液・腫瘍内科	1
膠原病リウマチ内科	1
膠原病内科	1
総合診療内科	1
精神科	1
麻酔・集中治療科	1
内分泌糖尿病内科	1
救急・集中治療科	1
外科	1
膠原病リウマチ内科、 内分泌代謝糖尿病内科	1
救急外来	1
老年内科	1
血液内科	1
未回答	13
合計	268

症状発症日及びワクチン接種後の症状について当該医療機関を受診した初診日

(地域連携室宛調査)

<症状発症日>

	2021年	2022年
1月	1人	2人
2月	0人	13人
3月	23人	15人
4月	20人	10人
5月	16人	2人
6月	35人	対象期間外
7月	32人	
8月	38人	
9月	33人	
10月	18人	
11月	4人	
12月	5人	

<初診日>

	2021年	2022年
1月	対象期間外	3人
2月	0人	6人
3月	20人	17人
4月	19人	14人
5月	9人	17人
6月	25人	対象期間外
7月	30人	
8月	22人	
9月	28人	
10月	32人	
11月	17人	
12月	9人	

※1件は発症日不明

発症日からワクチン接種後の症状について当該医療機関を初回受診するまでの期間

(地域連携室宛調査)

日数	人数
0	72
1	13
2	8
3	3
4	8
5	4
6	5
7	2
8	7
9	2
10	2
11	4
12	7
13	2
14	5
15	4
16	5
17	2
19	3
20	3
21	6
22	6
23	3
24	5
25	2
26	1
27	3
28	3

日数	人数
29	3
30	3
32	3
33	2
35	3
37	3
38	2
40	1
41	2
42	1
43	1
44	3
46	1
47	1
50	1
51	1
53	2
54	1
55	1
57	2
58	2
59	2
61	2
63	1
65	1
66	1
70	1
75	2

日数	人数
80	1
84	1
87	1
92	1
96	1
102	1
104	1
112	2
115	1
124	1
133	1
137	1
143	1
166	1
167	1
190	1
194	1
224	1
235	1
243	1
270	1
291	1
300	1
302	1
303	1

日数	人数
0～7日	115人
8～30日	81人
31～60日	35人
61～90日	11人
91～365日	23人
366日以上	0人
不明	3人
合計	268人

地域連携室からの調査報告のまとめ

(地域連携室宛調査)

- 前回評価の240例から28例の評価を追加されたが、これまでに認められた傾向に特段の変化は認められていない。
- 報告のうち約6割強が女性であり、女性の中で40代が最多であった。
- 受診した診療科は、総合内科、救急科、脳神経内科等、多岐に渡っていた。
- 受診患者の発症日は、2021年が約84% (225/268例)であった。
- ワクチン接種後の症状に係る当該医療機関の初診日は、発症当日が最多であり、約半数が発症日から1週間以内の事例であった。

※本調査では、診断とワクチン接種との因果関係は評価できない点に留意を要する。

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
- 3. 医学的調査票（医師宛）の結果について**
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

医師宛に送付した医学的調査票の回答の全体状況

(医師宛調査)

<回答依頼施設数、回答施設数、回答症例数>

依頼施設数	施設数 (該当症例あり施設数)	症例数
193	27(27)	212

<年齢、性別内訳>

年齢	男性		女性		合計
	人数	割合	人数	割合	
	70人	33.0%	142人	67.0%	212人
0～9歳	0人	0.0%	0人	0.0%	0人
10～19歳	11人	5.2%	9人	4.2%	20人
20～29歳	13人	6.1%	18人	8.5%	31人
30～39歳	10人	4.7%	14人	6.6%	24人
40～49歳	7人	3.3%	39人	18.4%	46人
50～59歳	9人	4.2%	26人	12.3%	35人
60～69歳	8人	3.8%	10人	4.7%	18人
70～79歳	8人	3.8%	13人	6.1%	21人
80～89歳	4人	1.9%	12人	5.7%	16人
90～99歳	0人	0.0%	1人	0.5%	1人

※小数点以下第2位四捨五入

受診患者のワクチン接種前の基礎疾患と日常生活自立度

(医師宛調査)

<基礎疾患>

基礎疾患の有無	人数	割合
あり	99	46.7%
なし	96	45.3%
不明	12	5.7%
回答なし	5	2.3%
合計	212	100%

※小数点以下第2位四捨五入

<日常生活>

自立度	人数	割合
自立	188	88.7%
一部介助が必要	4	1.9%
介助	5	2.3%
回答なし	15	7.1%
合計	212	100.0%

※小数点以下第2位四捨五入

ワクチン接種後の症状に係る受診状況

(医師宛調査)

<入院の有無>

入院の有無	人数	割合
あり	48	22.7%
なし	105	49.5%
未回答	59	27.8%
合計	212	100.0%

<前医の受診状況>

※小数点以下第2位四捨五入

受診状況	人数	割合	
他の医療機関の受診はなく、 当該医療機関を初診医療機関として受診	74人	34.9%	
他の医療機関受診後に 当該医療機関を受診	1施設	104人	49.1%
	2施設	11人	5.1%
	3施設	1人	0.5%
	未入力	19人	9.0%
不明	3人	1.4%	
合計	212人	100.0%	

※小数点以下第2位四捨五入

ワクチン接種後の症状に係る当該医療機関の初診日

(医師宛調査)

受診月	2021年	2022年
1月	対象期間外	3人
2月	0人	6人
3月	17人	14人
4月	17人	10人
5月	8人	15人
6月	21人	対象期間外
7月	24人	
8月	16人	
9月	20人	
10月	23人	
11月	12人	
12月	6人	
合計	164人	48人

今回の症状に影響を及ぼした可能性のあるワクチンの接種時期・接種回数・種類

(医師宛調査)

< 接種時期 >

接種月	2021年	2022年
1月	0人	2人
2月	0人	12人
3月	19人	12人
4月	18人	8人
5月	15人	0人
6月	29人	調査対象外
7月	22人	
8月	29人	
9月	19人	
10月	19人	
11月	1人	
12月	4人	
不明	3人	
合計	212人	

< 接種回数 > ※小数点以下第2位四捨五入

接種回数	人数	割合
1回	76人	35.8%
2回	96人	45.3%
3回	25人	11.8%
4回	0人	0.0%
入力無	3人	1.4%
不明	12人	5.7%
合計	212人	100.0%

< ワクチンの種類 > ※小数点以下第2位四捨五入

ワクチン種類	人数	割合
ファイザー (コミナティ筋注)	113人	53.3%
ファイザー(5-11歳用) (コミナティ筋注)	3人	1.4%
武田/モデルナ (スパイクバックス筋注)	26人	12.3%
不明	70人	33.0%
合計	212人	100.0%

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

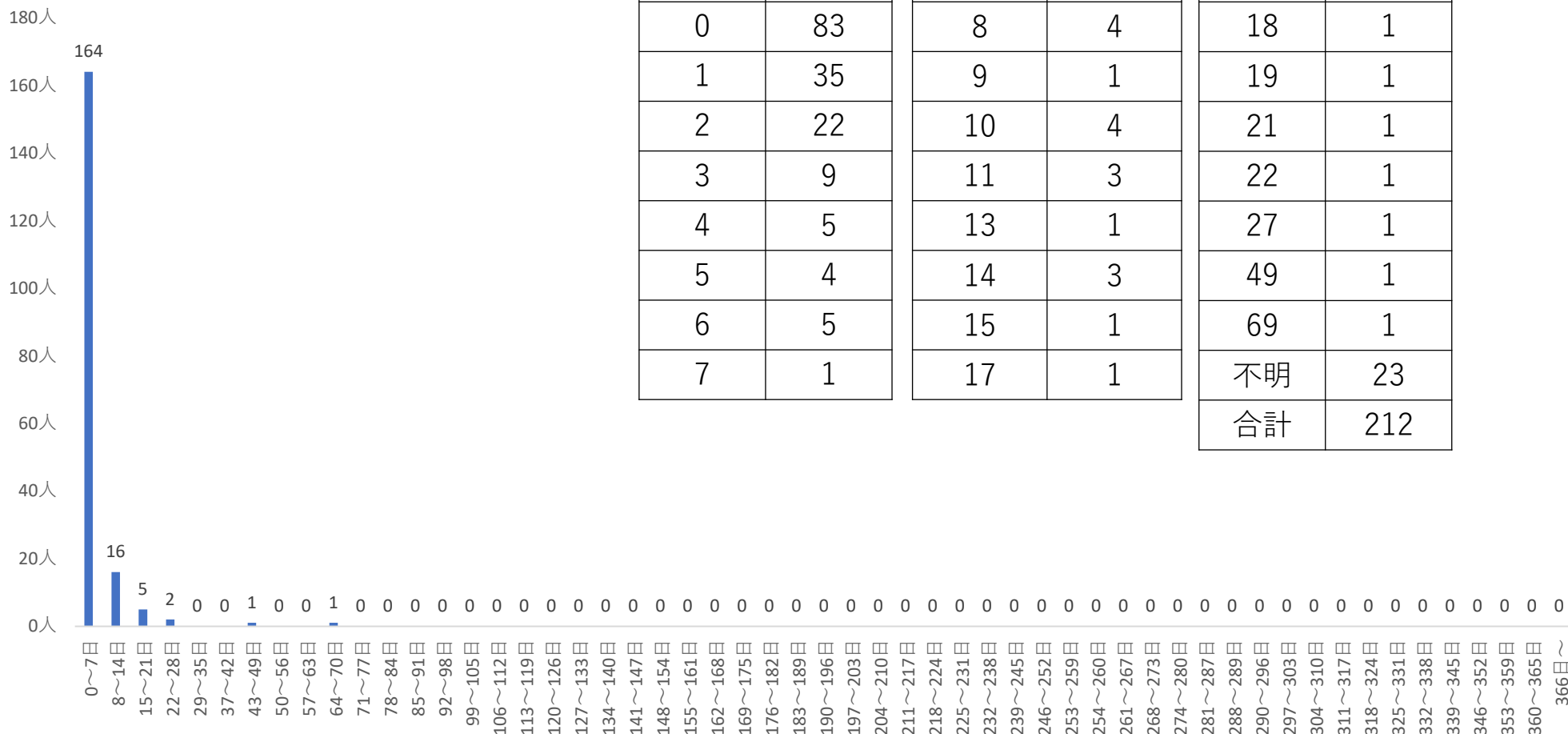
当該医療機関の受診のきっかけとなった症状のうち日常生活を送る上で最も支障を来している主な症状 (医師宛調査)

(複数回答あり、回答のあったすべての症状を集計)

発熱 (37度以上)	48	紅斑、モデルナアーム	2	活動性低下	1	舌のしびれ	1	左視力低下	1
疼痛	26	呼吸苦	2	肝機能障害	1	湿疹	1	左前腕尺側 4.5指しびれ	1
頭痛	24	しびれ	2	眼球充血	1	紫斑	1	左手の違和感、脱力	1
倦怠感	23	じんましん	2	顔面の紅潮	1	心停止	1	左半身しびれ	1
関節痛	11	浮腫	2	気道の狭窄感	1	蕁麻疹	1	頻尿	1
動悸	11	膨疹	2	胸部の不快感	1	性器出血	1	不眠	1
嘔気・嘔吐	10	歩行障害	2	胸膜炎	1	接種部位の発赤腫脹	1	震え、振戦	1
胸痛	10	発赤	2	筋力低下	1	全身の発疹	1	発疹、掻痒感	1
意識障害	7	アナフィラキシー	1	口の腫れ	1	脱毛	1	発赤、掻痒感	1
筋肉痛	7	息苦しさ	1	頸部のかゆみ、発赤	1	脱力、しびれ	1	味覚障害	1
血尿	7	意識障害、SpO2	1	頸部より上の腫れぼた たい感じ	1	点状出血	1	右下肢皮疹	1
皮疹	7	咽頭違和感 息苦しさ	1	けいれん	1	疼痛, じんま疹	1	右手首～指先のしびれ	1
発疹	6	咽頭違和感、つまり感	1	痙攣	1	喉の違和感	1	右目掻痒感	1
息切れ	5	咽頭の掻痒感	1	けいれん・意識障害	1	鼻づまり	1	めまい	1
腹痛	4	咽頭不快感	1	血圧低下	1	皮疹、紅斑、モデルナ アーム	1	腰部・両上肢のしびれ	1
リンパ節腫脹	4	SpO2低下	1	倦怠感、息切れ	1	左腋窩、鎖骨痛	1	両側手掌末梢側のしびれ	1
咽頭違和感	3	嚥下困難	1	口腔粘膜浮腫	1	左肩関節可動域制限	1	両手のしびれ	1
集中力低下	3	悪寒戦慄	1	高血圧	1	左上顎しびれ	1	ろれつ障害	1
咽頭部不快感	2	過換気	1	口唇の腫脹	1	左上肢運動障害	1		
悪寒	2	下肢の違和感	1	紅斑	1	左上肢感覚鈍痛	1		
咳嗽	2	下肢浮腫	1	嘎声	1	左上肢拳上困難と痛み	1		
下痢	2	肩・後頭部のしびれ	1	四肢	1	左上肢脱力	1		

ワクチン接種後から当該症状*が出現 又は悪化するまでの期間

(医師宛調査)



*：受診のきっかけとなった症状のうち、日常生活を送るうえで支障をきたしている症状

※不明と回答された23名を除く。

ワクチン接種後から当該症状*が出現 又は 悪化するまでの期間が8日以上であった症例①

ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数	日数	年齢	性別	症状	転帰	当該症状の持続期間
8～14日	8	87	男性	発熱（37度以上）、疼痛	回復/軽快	発熱：11 疼痛：不明
	8	23	女性	なし*	不明	不明
	8	45	女性	嚥下困難	回復/軽快	不明
	8	12	男性	胸痛	回復/軽快	不明
	9	48	女性	疼痛	回復/軽快	55
	10	38	男性	頭痛	回復/軽快	6
	10	32	男性	発熱（37度以上）	初診のみ受診	不明
	10	38	女性	紅斑、モデルナアーム	不明	1
	10	13	女性	紅斑、モデルナアーム	回復/軽快	9
	11	72	女性	点状出血	回復/軽快	不明
	11	15	女性	脱毛	回復/軽快	454
	11	83	男性	倦怠感、息切れ	未回復	125
	13	44	女性	左視力低下	回復/軽快	356
	14	82	女性	意識障害	回復/軽快	14
	14	26	男性	肝機能障害	回復/軽快	14
14	50	女性	浮腫	回復/軽快	380	

*：受診のきっかけとなった症状のうち、日常生活を送るうえで支障をきたしている症状

※：受診のきっかけとなった症状はめまいであったが、日常生活を送るうえで支障をきたしている症状はなし、と報告された。

ワクチン接種後から当該症状*が出現又は悪化するまでの期間が8日以上であった症例②

ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数	日数	年齢	性別	症状	転帰	当該症状の持続期間
15～21日	15	40	男性	肩・後頭部のしびれ	不明	249
	17	72	女性	リンパ節腫脹	回復/軽快	62
	18	44	女性	発熱（37度以上） （頭痛：15日、筋肉痛：16日）	回復/軽快	不明
	19	56	女性	頭痛、嘔気・嘔吐	回復/軽快	36
	21	68	女性	疼痛	回復/軽快	不明

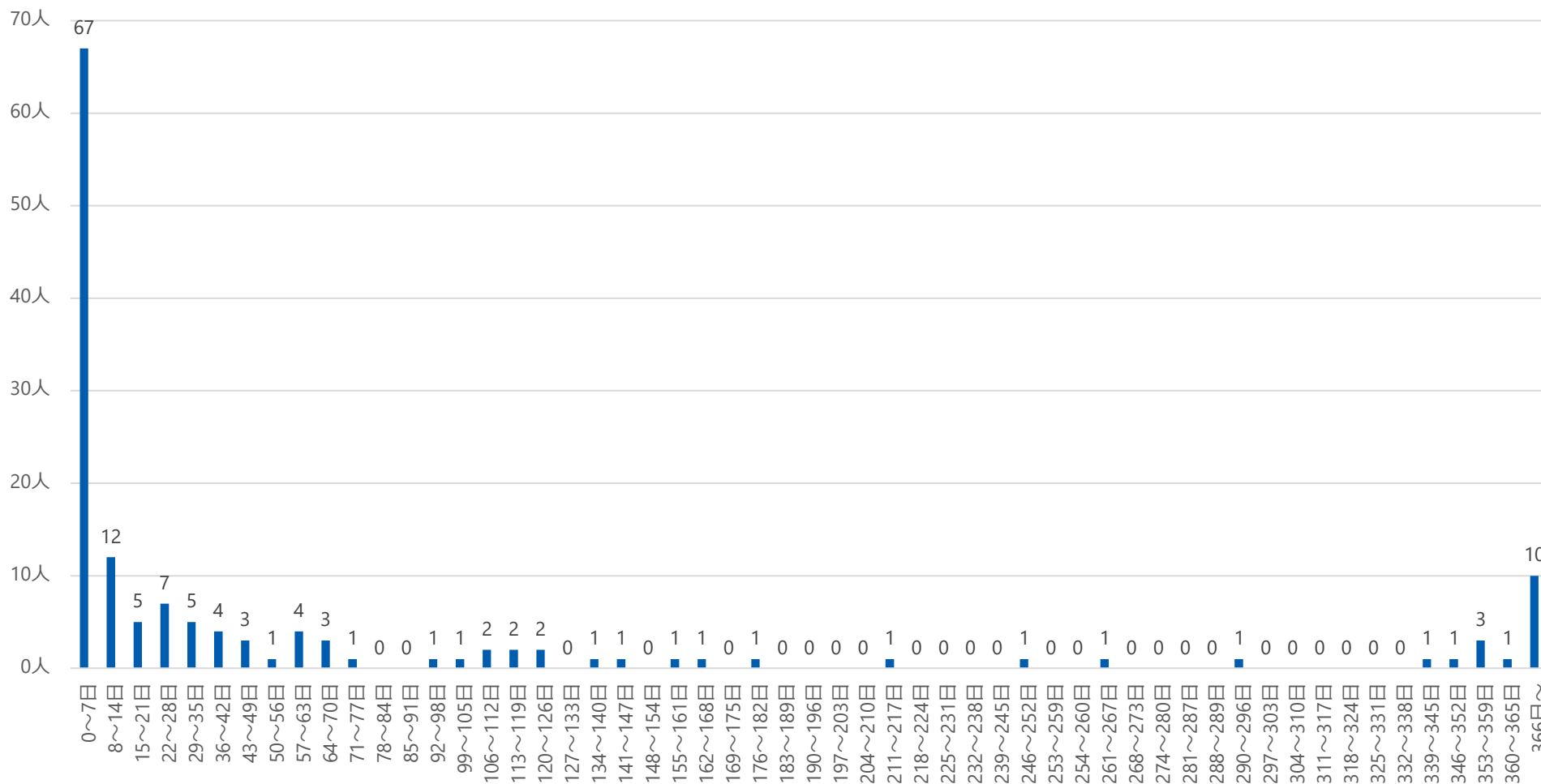
ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数	日数	年齢	性別	症状	転帰	当該症状の持続期間
22～28日	22	44	女性	左半身のしびれ	未回復	7
	27	13	男性	頭痛、歩行障害	回復/軽快	不明

ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数	日数	年齢	性別	症状	転帰	当該症状の持続期間
43～70日	49	41	男性	倦怠感	未回復	不明
	69	85	男性	倦怠感（左上肢運動障害：43日）	回復/軽快	倦怠感：366 左上肢運動障害：不明

*：受診のきっかけとなった症状のうち、日常生活を送るうえで支障をきたしている症状

当該症状※1の持続期間※2について

(医師宛調査)



不明と回答された51名を除く。

※1 1つの症例において複数の症状が報告された場合、最も症状の持続期間が長かった症状について集計している。

※2 当該症状の持続期間については、症状が回復している場合は回復までの持続期間を、症状が持続または通院を自己中断している場合は最終受診日までの期間を集計している。

症状の持続期間が31日～60日であった症例

持続期間	日数	年齢	性別	症状	転帰	ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数
31～60日	32	51	男性	疼痛	回復/軽快	2
	33	64	女性	めまい	回復/軽快	0
	34	86	女性	発熱（37度以上）、関節痛	回復/軽快	0
	34	70	女性	全身の発疹	回復/軽快	5
	36	38	男性	動悸	回復/軽快	0
	36	56	女性	頭痛、嘔気・嘔吐	回復/軽快	19
	40	48	女性	胸痛	回復/軽快	6
	41	87	女性	発熱（37度以上）	未回復	2
	43	42	女性	疼痛	回復/軽快	5
	46	64	女性	四肢しびれ	回復/軽快	0
	48	27	女性	倦怠感 筋肉痛(45日：しびれ)	回復/軽快	1
	55	42	女性	発熱（37度以上）、咳嗽	回復/軽快	1

※1 1つの症例において複数の症状が報告された場合、最も症状の持続期間が長かった症状について集計している。

※2 当該症状の持続期間については、症状が回復している場合は回復までの持続期間を、症状が持続または通院を自己中断している場合は最終受診日までの期間を集計している。

症状の持続期間が61日～120日であった症例

持続期間	日数	年齢	性別	症状	転帰	ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数
61～90日	62	72	女性	リンパ節腫脹	回復/軽快	17
	63	48	女性	発熱（37度以上）、倦怠感（55日:疼痛）	回復/軽快	1
	63	53	男性	腰部・両上肢のしびれ	不明	0
	63	81	女性	頭痛	回復/軽快	2
	64	36	男性	頭痛、嘔気・嘔吐	不明	0
	64	42	男性	腹痛	回復/軽快	2
	66	58	女性	発熱（37度以上）、胸痛、頭痛	回復/軽快	0
	71	16	男性	筋力低下	回復/軽快	0

持続期間	日数	年齢	性別	症状	転帰	ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数
91～120日	96	54	女性	リンパ節腫脹	回復/軽快	1
	100	83	女性	皮疹	回復/軽快	2
	109	31	女性	疼痛、脱力・しびれ	未回復	0
	112	55	女性	息苦しさ	回復/軽快	0
	115	88	女性	右下肢皮疹、（80日:疼痛）	回復/軽快	5
	118	33	男性	関節痛	不明	0

※1 1つの症例において複数の症状が報告された場合、最も症状の持続期間が長かった症状について集計している。

※2 当該症状の持続期間については、症状が回復している場合は回復までの持続期間を、症状が持続または通院を自己中断している場合は最終受診日までの期間を集計している。

症状の持続期間が121日～365日であった症例

持続期間	日数	年齢	性別	症状	転帰	ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数
121～365日	125	83	女性	倦怠感	回復/軽快	0
	125	83	男性	倦怠感、息切れ	未回復	11
	137	41	男性	頭痛	不明	5
	142	75	男性	疼痛	不明	0
	157	22	女性	発熱（37度以上）	未回復	2
	164	77	男性	ろれつ障害	回復/軽快	1
	181	51	女性	しびれ	回復/軽快	0
	212	58	女性	疼痛	回復/軽快	0
	252	19	男性	倦怠感（89日:発熱（37度以上））	回復/軽快	1
	262	40	男性	不眠（249日:肩・後頭部のしびれ）	未回復	2
	294	59	男性	浮腫	回復/軽快	6
	343	18	女性	右手首～指先のしびれ	回復/軽快	0
	347	34	男性	左上肢感覚鈍痛、左上肢脱力	回復/軽快	1
	356	44	女性	左視力低下	回復/軽快	13
	357	27	女性	頭痛	未回復	1
	357	59	男性	筋肉痛、下痢	回復/軽快	0
364	73	女性	血尿	回復/軽快	1	

※1 1つの症例において複数の症状が報告された場合、最も症状の持続期間が長かった症状について集計している。

※2 当該症状の持続期間については、症状が回復している場合は回復までの持続期間を、症状が持続または通院を自己中断している場合は最終受診日までの期間を集計している。

症状の持続期間が365日以上であった症例

持続期間	日数	年齢	性別	症状	転帰	ワクチン接種から症状発現又は悪化までの日数
366日以上～	366	85	男性	倦怠感	回復/軽快	69
	380	50	女性	浮腫	回復/軽快	14
	385	71	女性	左上肢拳上困難と痛み	回復/軽快	0
	390	75	女性	倦怠感、息切れ、集中力低下	未回復	0
	420	38	女性	血尿	未回復	2
	454	15	女性	脱毛	回復/軽快	11
	467	58	女性	息切れ、胸膜炎	回復/軽快	0
	479	21	女性	血尿	未回復	2
	486	21	男性	血尿	未回復	2
	678	27	女性	筋肉痛、疼痛、倦怠感	悪化	1

※1 1つの症例において複数の症状が報告された場合、最も症状の持続期間が長かった症状について集計している。

※2 当該症状の持続期間については、症状が回復している場合は回復までの持続期間を、症状が持続または通院を自己中断している場合は最終受診日までの期間を集計している。

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

ワクチン接種後の症状に対して行われた検査及び検査所見の概要

(医師宛調査)

	実施所見		未実施	未回答
	異常所見あり	異常所見なし		
血液検査	126		63	23
	50	76		
尿検査	60		124	28
	17	43		
髄液検査	6		177	29
	2	4		
心電図検査	58		126	28
	12	46		
超音波検査	34		149	29
	3	31		
脳波	8		174	30
	3	5		
神経電動速度	8		175	29
	1	7		
筋電図	8		174	30
	1	7		
筋生検	4		178	30
	1	3		
単純X線検査	60		125	27
	5	55		
CT	54		131	27
	16	38		
MRI	35		154	23
	17	18		

ワクチン接種後の症状に対して行われた治療内容

(医師宛調査)

<治療内容>

薬剤治療（補液のみも含む）	97
経過観察, 薬剤治療（補液のみも含む）	36
薬剤治療（補液のみも含む）, 外科的治療	4
薬剤治療（補液のみも含む）, 認知行動療法・カウンセリング	1
薬剤治療（補液のみも含む）, リハビリ	1
その他（薬物屯用処方、必要時に内服の指示）	1
その他（肩関節腔内注射）	1
経過観察	55
耳鼻咽喉科へ紹介	1
外科的治療	1
認知行動療法・カウンセリング	1
その他（リハビリ）	1
未入力	12
合計	212

<薬剤治療あり141症例>

解熱鎮痛剤	50
ステロイド	29
補液	19
血液製剤	2
免疫抑制剤	1
その他	83

※薬剤治療の内容は重複あり

※薬剤治療には補液のみも含む

ワクチン接種後の症状に係る確定病名の一覧（1/2）

（医師宛調査）

確定病名	ICD-10コード	症例数
予防接種副反応	T881	42
IgA腎症	N028	7
発熱	R50.9	7
頭痛	R51	5
アナフィラキシー	T78.2	5
末梢神経障害	G629	4
COVID-19ワクチン接種副反応	U129	4
薬疹	L27	3
蕁麻疹	L509	3
左肩関節周囲炎	M750	3
肩関節周囲炎	M750	3
発疹	R21	3
不明熱	R509	3
急性心筋炎	I409	2
リウマチ性多発筋痛	M353	2
微小変化型ネフローゼ症候群	N040	2
意識障害	R40.2	2
めまい	R42	2
薬剤性アナフィラキシーショック	T886	2
サルモネラ腸炎	A020	1
ヘルペス髄膜炎	B003	1
疥癬	B86	1
肺癌	C349	1
AITL	C86.5	1
ヘアリー細胞白血病	C914	1
急性骨髄性白血病	C920	1
播種性血管内凝固	D65	1
解離性障害	F44.9	1
身体表現性障害	F459	1
無菌性髄膜炎	G30	1

確定病名	ICD-10コード	症例数
小児特発性部分てんかん	G40.0	1
普通型片頭痛	G43.0	1
筋収縮性頭痛	G442	1
多系統萎縮症	G90.3	1
左網膜中心静脈閉塞症	H348	1
末梢性めまい	H813	1
高血圧性緊急症	I10	1
本態性高血圧	I10	1
心筋心膜炎	I319	1
急性心筋炎の疑い	I409	1
蘇生に成功した心停止	I460	1
心室細動	I490	1
脳動静脈奇形破裂	I60.8	1
脳皮質下出血	I61.0	1
脳出血	I619	1
脳梗塞	I63.9	1
アテローム血栓性脳梗塞	I633	1
精索静脈瘤	I861	1
起立性低血圧	I951	1
左上顎洞炎	J010	1
急性咽頭炎	J029	1
細菌性肺炎	J159	1
誤嚥性肺炎	J69.0	1
急性呼吸不全	J9609	1
急性胃粘膜病変	K250	1
上行結腸憩室炎	K573	1
肝機能障害	K769	1
頸部リンパ節炎	L040	1
限局性掻痒症	L29.8	1
体幹湿疹	L309	1

※上記の病名は、症状とワクチン接種との因果関係の有無にかかわらず、当該医療機関より報告された確定病名をそのまま記載していることに留意。

ワクチン接種後の症状に係る確定病名の一覧 (2/2)

(医師宛調査)

確定病名	ICD-10コード	症例数
薬物性じんま疹	L50.8	1
じんま疹	L509	1
紅斑症	L53.9	1
円形脱毛症	L639	1
スイート病 (右下腿)	L982	1
予防接種後関節障害	M0229	1
成人発症スチル<Still>病	M0610	1
頸椎偽痛風	M1128	1
偽痛風	M1129	1
左肩関節炎	M1311	1
右足関節痛	M2557	1
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	M301	1
多発性筋炎	M332	1
リウマチ性多発筋痛症	M35.3	1
頸椎症	M4782	1
変形性頸椎症	M4782	1
頸肩腕症候群	M5312	1
胸椎脊髄神経根症	M5419	1
背部筋肉痛	M7918	1
右下肢痛	M7969	1
ANCA関連腎炎	N017	1
洞性頻脈、脂質異常症、COVID-19ワクチン後副反応疑い	R000、E785、U12	1
呼吸困難	R06.0	1
労作時呼吸困難	R060	1
労作時呼吸苦、動悸	R060、R002	1
左胸部痛	R072	1
右前胸部痛	R072	1
胸膜炎	R091	1
嘔気	R11	1

確定病名	ICD-10コード	症例数
手指先しびれ	R20.8	1
腋窩腫脹	R22.2	1
左手背腫脹	R223	1
硬結	R23.4	1
振戦	R25.1	1
左上肢脱力	R29.8	1
一過性意識障害	R402	1
味覚障害	R432	1
夜間性不明熱	R509	1
頭痛/高熱	R51/R509	1
急性疼痛	R52.0	1
疼痛	R52.9	1
左大腿疼痛	R529	1
倦怠感	R53	1
全身倦怠感	R53	1
失神	R55	1
無熱性けいれん	R56.8	1
重度痙攣発作	R568	1
痙攣重複発作	R568	1
両四肢刺虫性皮膚炎	T634	1
咽頭アレルギー	T784	1
予防接種後副反応	T881	1
コロナ予防接種副反応	U071	1
COVID19ワクチン接種副反応	U12	1
コロナ感染症2019ワクチン接種副反応	U12	1
COVID-19ワクチン接種副反応の疑い、てんかん	U12、G409	1
コロナウイルス感染症ワクチン接種副作用	U129	1
COVID-19関連の多系統炎症性症候群	V109	1
ワクチン後体調不調	入力無	1

※上記の病名は、症状とワクチン接種との因果関係の有無にかかわらず、当該医療機関より報告された確定病名をそのまま記載していることに留意。

ワクチン接種後の症状に係る疑い病名

(医師宛調査)

疑い病名	ICD-10コード	症例数
新型コロナワクチン副反応	U12	11
末梢神経障害性疼痛	G64	2
急性心筋梗塞	I219	2
左肩関節周囲炎	M750	2
膵癌疑い	C259	1
肺癌	C349	1
悪性リンパ腫 疑い	C854	1
急性骨髄性白血病	C920	1
DIC	D65	1
甲状腺機能低下症	E039	1
過換気症候群の疑い	F453	1
身体表現性障害	F459	1
左肘部管症候群	G562	1
肋間神経痛疑い	G58.0	1
ギランバレー症候群	G610	1
末しょう神経障害性疼痛	G64	1
慢性疲労症候群	G933	1
感音性難聴	H905	1
不安定狭心症	I200	1
心臓弁膜症の疑い	I38	1
急性心筋炎の疑い	I409	1
不整脈	I499	1
心不全	I509	1
心筋炎の疑い	I514	1
心筋炎疑い	I514	1
逆流性食道炎	K210	1
関節リウマチ	M0690	1
左肩関節拘縮	M2451	1
右肩関節痛症	M2551	1

疑い病名	ICD-10コード	症例数
巨細胞動脈炎	M316	1
リウマチ性多発筋痛	M353	1
胸椎脊髄神経根症	M5419	1
肩関節周囲炎	M750	1
左肩インピンジメント症候群	M754	1
線維筋痛症の疑い	M7979	1
左上筋頭腕腱鞘炎	MG6599	1
呼吸困難の疑い	R060	1
低酸素血症の疑い	R090	1
味覚障害	R432	1
右肩腱板損傷	S460	1
アナフィラキシー	T78.2	1
アナフィラキシーショックの疑い	T782	1
COVID-19 ワクチン接種副反応疑い	U12	1
肺炎	U189	1

※上記の病名は、症状とワクチン接種との因果関係の有無にかかわらず、当該医療機関より診療の結果、医学的に疑われたとして報告された病名をそのまま記載していることに留意。

報告された症状の経過（転帰、受診状況）

（医師宛調査）

回復/軽快	143
未回復	20
死亡 （脳出血、多臓器不全、心室細動、脳内出血、多系統萎縮症 各1例）	5
悪化	1
その他（初診日のみの受診）	2
不明	22
未記入	19
合計	212

※1つの症例において複数の症状が報告された場合、症状の転帰については、①転帰「不明」のものがあった場合は「不明」として、②「回復」と「未回復」の両方があった場合は「未回復」として計上した。

入院した48症例の症状・病名・検査・治療・転帰 (1/4)

(医師宛調査)

年齢性別	症状	病名1	病名2	病名3	病名4	疾患名	検査・治療内容	転帰
13歳男性	頭痛、歩行障害	起立性低血圧	慢性疲労症候群（疑い）				解熱鎮痛剤、ミドドリン、アメジニウムメチル硫酸塩	軽快
13歳男性	発熱、頭痛	不明熱				不明熱	解熱鎮痛剤、ミノマイシン	回復
14歳女性	けいれん・意識障害、発熱、筋肉痛、頭痛	一過性意識障害	コロナ感染症2019ワクチン接種副反応	頭痛/高熱			解熱鎮痛剤	回復
16歳女性	息切れ、膨疹	アナフィラキシー	予防接種副反応				アドレナリン、ステロイド	回復
17歳男性	胸痛、発熱	急性心筋炎						回復
21歳男性	胸痛、発熱	急性心筋炎						回復
21歳女性	血尿	IgA腎症					ステロイド	未回復
23歳男性	発熱、胸痛	心筋心膜炎				統合失調症	ロキソプロフェン	回復
26歳男性	発熱、倦怠感、頭痛、歩行障害、咽頭痛、両側手掌末梢側のしびれ	急性咽頭炎	ギランバレー症候群（疑い）				カロナール（他科受診）	回復
26歳女性	痙攣	痙攣重複発作	COVID-19ワクチン接種副反応の疑い、てんかん				抗痙攣薬	回復
27歳女性	倦怠感、筋肉痛、疼痛（関節痛、筋肉痛、胸痛、頭痛、腹痛以外、集中力低下）	COVID-19ワクチン接種副反応					解熱鎮痛剤、ステロイド、漢方	悪化
32歳男性	心停止	心室細動	蘇生に成功した心停止	細菌性肺炎			抗不整脈薬（救急科受診）	死亡

入院した48症例の症状・病名・検査・治療・転帰 (2/4)

(医師宛調査)

年齢性別	症状	病名1	病名2	病名3	病名4	疾患名	検査・治療内容	転帰
33歳女性	嘔気・嘔吐、倦怠感、頭痛	急性胃粘膜病変				チアノーゼ性先天性心疾患、無肺症、両大血管右室起始、総肺動脈狭窄、肺静脈逆流異常症、チアノーゼ性腎症	補液、PPI	回復
36歳女性	腹痛, 血圧低下	アナフィラキシー					アドレナリン、ステロイド	回復
38歳女性	血尿	IgA腎症					ステロイド	未回復
40歳女性	咽頭違和感、息苦しさ	アナフィラキシー				高血圧、月経困難症、片頭痛	解熱鎮痛剤、ステロイド、アドレナリン、ポララミン、ガスター注射	回復
43歳女性	動悸、意識障害、口腔粘膜浮腫						ボスミン	回復
46歳女性	血尿	IgA腎症				慢性腎炎症候群	ステロイド	軽快
48歳女性	発熱, 倦怠感, 疼痛	成人発症スチル<Still>病				間質性腎炎・高尿酸血症・高脂血症	ステロイド、アクテムラ	回復
48歳女性	頭痛, 嘔気・嘔吐, 筋肉痛						解熱鎮痛剤、補液	回復
50歳女性	浮腫	微小変化型ネフローゼ症候群				MCNS (微小変化型ネフローゼ症候群)	ステロイド	軽快
51歳女性	発熱、倦怠感、疼痛 (接種部上腕)、咳嗽、頭痛、皮疹、性器出血	播種性血管内凝固					解熱鎮痛剤、血液製剤、ステロイド、補液、アルガトロバン	軽快
52歳女性	前進筋肉痛	予防接種副反応				骨粗鬆症	ラクテック	回復
52歳女性	発熱, 嘔気・嘔吐, 腹痛, 疼痛	上行結腸憩室炎				大腸ポリープ、胆のうポリープ	解熱鎮痛剤、補液	回復

入院した48症例の症状・病名・検査・治療・転帰 (3/4)

(医師宛調査)

年齢性別	症状	病名1	病名2	病名3	病名4	疾患名	検査・治療内容	転帰
52歳女性	血尿	IgA腎症					ステロイド	回復
54歳女性	息切れ、嘔気・嘔吐、筋肉痛					直腸癌		回復
55歳女性	頻脈、高血圧、動悸、息苦しさ、咽頭部違和感	本態性高血圧	洞性頻脈、脂質異常症、COVID-19ワクチン後副反応疑い				降圧薬	軽快
56歳女性	集中力低下	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症				喘息	ステロイド、免疫抑制剤	回復
59歳男性	浮腫	微小変化型ネフローゼ症候群					ステロイド	軽快
61歳男性	嘔気・嘔吐、意識障害	意識障害	脳皮質下出血	脳動静脈奇形破裂	新型コロナウイルスワクチン副反応(疑い)		補液、イーケプラ、ジルチアゼム、グリセノン、ニカルジピン	死亡
61歳男性	胸痛							回復
63歳男性	紫斑	急性骨髄性白血病				汎血球減少症、高血圧症		未回復
64歳女性	発熱、上腕・大腿痛					家族性地中海熱	アセトアミノフェン、補液	軽快
65歳男性	発熱(37度以上)、疼痛(右下肢)	ヘアリー細胞白血病				肝機能障害	解熱鎮痛剤、ステロイド、クラドリピン、リツキサン	回復
69歳女性	発熱、下痢	サルモネラ腸炎				バセドウ病、気管支拡張症	解熱鎮痛剤	回復
71歳女性	発熱	多系統萎縮症	誤嚥性肺炎			多系統萎縮症		死亡

入院した48症例の症状・病名・検査・治療・転帰 (4/4)

(医師宛調査)

年齢性別	症状	病名1	病名2	病名3	病名4	疾患名	検査・治療内容	転帰
73歳女性	血尿	IgA腎症				CKD、DM、HT(慢性腎臓病、糖尿病、高血圧)	ステロイド	軽快
76歳女性	酸素化低下	アナフィラキシー				高血圧症、2型糖尿病、高コレステロール血症、気管支喘息	アドレナリン、ステロイド	回復
77歳男性	ろれつ障害	アテローム血栓性脳梗塞				高血圧、脳梗塞、狭心症、高尿酸血症	補液、クロピトグレル、アスピリン	回復
78歳女性	じんま疹、呼吸苦	紅斑症	呼吸困難	アナフィラキシー(疑い)	新型コロナワクチン副反応(疑い)		ステロイド、補液、ボスミン、ポララミン、ルパフィン	回復
82歳女性	意識障害	ヘルペス髄膜炎	重度痙攣発作			リウマチ、高血圧、狭心症	アシクロビル	回復
83歳女性	意識障害、SpO2低下	意識障害	脳梗塞	新型コロナワクチン副反応(疑い)		脳梗塞、肥大型心筋症	補液、イーケプラ、ラシックス、スルバシリン、オメプラゾール	未回復
84歳女性	脳出血、意識障害、活動性低下	脳出血	急性骨髄性白血病(疑い)	DIC(疑い)		高血圧	降圧薬	死亡
85歳男性	倦怠感、左上肢運動障害	多発性筋炎				左内頸動脈狭窄	ステロイド	軽快
86歳女性	発熱、関節痛	偽痛風				高血圧症、高脂血症	ステロイド	回復
87歳女性	発熱	ANCA関連腎炎				HT、DM(高血圧、糖尿病)	ステロイド	未回復
88歳女性	発熱、筋肉痛、疼痛、右下肢皮疹	スイート病(右下腱)					ステロイド、解熱鎮痛剤、カデックス	回復
89歳男性	意識障害	多臓器不全				心不全	GI療法	死亡

医師からの調査報告のまとめ

(医師宛調査)

- 前回評価の140例から72例の評価が追加された。
- 報告のうち約7割が女性であり、女性の中では40代が最多であった。
- 2021年6～8月に接種した事例が多く、接種回数としては4回目接種までの中で1回目及び2回目接種後の事例がそれぞれ約4割と多くを占めた。
- 入院症例において、単一施設・医師から5例のIgA腎症が報告され、全例が退院し外来通院にて治療が継続されていた。また、それ以外の特定の症状や疾病への報告の集中はみられなかった。
- 接種から症状の発現までの期間は、8割弱が1週間以内であり、症状の持続期間が確認できた事例のうち約2/3は4週間以内に症状が改善していた※。
- 転帰の確認できた事例のうち、約85%の事例で軽快または回復が確認された。
- 入院事例の多くは、様々な診断に応じた治療が行われていた。

※ 本研究は、全国の都道府県において、自治体やかかりつけ医等の紹介により、新型コロナワクチン接種後に副反応を疑う症状を専門的見地から診療する専門的医療機関に対して、「新型コロナワクチン接種後の遷延する症状に関する実態調査」として行った調査結果であり、ワクチン接種後の約1/3の事例において4週間以上の症状が持続するわけではないことに留意が必要。

* 本調査では、症状と接種との因果関係は評価できない点に留意が必要。

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

総括

1. 本調査は第三報であり、疑義照会により報告施設数及び症例数が増加した。
2. 入院症例において、5例のIgA腎症の事例が報告された。ただし、全例が単一施設・医師からの報告だった。また、全例が退院し、外来通院で治療が継続されていた。なお、本研究の性質上、ワクチンとの因果関係を評価することが困難であることから、国内外の他の情報等も含めて検討する必要がある。
3. 遷延する症状について、症状の持続期間が31日以上等の事例の症状の精査を行ったが、全体の報告状況と同様に、特定の症状や疾患の報告の集中はみられなかった。また、症状の持続期間が31日以上等の事例の転帰についても、多くの事例で軽快又は回復していることが確認された。
4. 本調査の性質上、症状とワクチン接種の間の因果関係を検証することはできないが、一部には症状の回復に長期間かかる事例や、発症から長期間経過しても未回復の事例が報告されている。
5. 遷延する症状を呈する方の診療にあたる医療従事者に必要な情報を提供することが求められる。

資料内容

1. 今回の実態調査の概要等について
2. 事務的調査票（地域医療連携室宛）の結果について
3. 医学的調査票（医師宛）の結果について
 - 全体の状況（症例数、症例背景）について
 - 症状について
 - 主な症状について
 - 接種後から症状が出現又は悪化するまでの期間について
 - 症状の持続期間について
 - 検査内容、治療内容、病名、転帰について
4. 今回の実態調査の総括
5. 参考資料

(参考資料)

(地域連携室宛調査)

初診日から直近の受診日までの入院の有無

有	72	26.9%
無	196	73.1%
合計	268	100.0%

※上記の入院等の情報は、当該施設の「新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う患者の紹介に対応する窓口」に紹介があり、令和3年(2021年)2月1日から令和4年(2022年)5月31日までに受診した全患者をリストとし、本調査票の記載日時点までにおいて、当該事例の入院の有無やその病名について事務的に回答を求めたものを集計したものであり、ワクチンと無関係な入院等を含みうることに留意。

(参考資料) 当該症状に係る初診日から直近の受診日までの全病名 (1/3)

(地域連携室宛調査)

地域連携室 (病名)	(ICD-10コード)	症例数
予防接種副反応	T881	50
アナフィラキシー	T782	12
頭痛	R51	13
末梢神経障害	G629	10
末梢神経障害性疼痛	G64	8
IgA腎症	N028	8
ギランバレー症候群	G610	7
発熱	R509	7
逆流性食道炎	K210	5
蕁麻疹	L509	5
不眠症	G470	4
便秘症	K590	4
リウマチ性多発筋痛	M353	4
左肩関節周囲炎	M750	4
発疹	R21	4
耐糖能異常	R730	4
不安神経症	F411	3
慢性胃炎	K295	3
多発性筋炎	M332	3
頸肩腕症候群	M5312	3
腰痛症	M5456	3
肩関節周囲炎	M750	3
NONE	None	3
嘔気	R11	3
不明熱	R509	3
全身倦怠感	R53	3
脱水症	E86	2
過換気症候群	F453	2
神経症	F489	2
視神経脊髄炎	G360	2

地域連携室 (病名)	(ICD-10コード)	症例数
てんかん	G409	2
片頭痛	G439	2
筋収縮性頭痛	G442	2
神経障害性疼痛	G98	2
急性心膜炎	I309	2
心室期外収縮	I493	2
薬剤性アナフィラキシーショック	IZ14197	2
急性咽頭炎	J029	2
アレルギー性鼻炎	J304	2
胃炎	K297	2
大腸ポリープ	K635	2
薬疹	L270	2
頸椎症	M4782	2
腰椎症	M5456	2
左関節周囲炎	M750	2
微小変化型ネフローゼ症候群	N040	2
更年期症候群	N951	2
呼吸困難	R060	2
胸痛	R074	2
意識障害	R40.2	2
めまい	R42	2
痙攣発作	R568	2
COVID-19ワクチン接種副反応	U129	2
COVID-19ワクチン接種副反応・詳細不明	U219	2
関節痛	2559	1
サルモネラ腸炎	A02.0	1
急性胃腸炎	A099	1
ヘリコバクターピロリ感染症	A498	1
ヘルペス髄膜炎	B003	1

地域連携室 (病名)	(ICD-10コード)	症例数
水痘脳炎	B011 G051	1
帯状疱疹性髄膜炎	B021	1
ハント症候群	B022	1
疥癬の疑い	B86	1
肺癌	C349	1
右乳房上内側部乳癌	C502	1
AITL	C86.5	1
ヘアリー細胞白血病	C91.4	1
急性骨髄性白血病	C920	1
乳房腫瘍	D486	1
貧血	D649	1
播種性血管内凝固	D65	1
発熱性好中球減少症	D70	1
薬剤性顆粒球減少症	D70	1
高ガンマグロブリン血症	D892	1
2型糖尿病	E110	1
糖尿病	E110	1
黄体機能不全	E283	1
脂質異常症	E785	1
脂質代謝異常症	E789	1
高尿酸血症	E790	1
低ナトリウム血症	E871	1
統合失調症	F209	1
うつ状態	F329	1
うつ病	F329	1
不安障害	F419	1
解離性障害	F44.9	1
身体化障害	F450	1
頸椎症性筋萎縮症	G128	1
多発性硬化症	G35	1

※上記の病名等の情報は、当該施設の「新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う患者の紹介に対応する窓口」に紹介があり、令和3年(2021年)2月1日から令和4年(2022年)5月31日までに受診した全患者をリストとし、本調査票の記載日時点までにおいて有効であった当該事例の病名(疑い病名は除く)について事務的に回答を求めたものを集計したものであり、ワクチンと無関係な病名を含みうることに留意。

(参考資料) 当該症状に係る初診日から直近の受診日までの全病名 (2/3)

(地域連携室宛調査)

地域連携室 (病名)	(ICD-10コード)	症例数
小児特発性部分てんかん	G40.0	1
普通型片頭痛	G43.0	1
顔面神経不全麻痺	G510	1
胸郭出口症候群	G540	1
左肘部管症候群	G562	1
肋間神経痛疑い	G580	1
ギラン・バレー症候群疑い	G610	1
多発性神経障害	G629	1
免疫介在性壊死性ミオパチー	G724	1
多系統変性症	G90.3	1
頸髄症	G959	1
頸髄症の術後	G959	1
眼瞼炎	H010	1
両皮質性加齢性白内障	H250	1
左網膜中心静脈閉塞症	H348	1
両遠視性乱視	H522	1
末梢性めまい	H813	1
末梢性めまい症	H813	1
感音性難聴	H905	1
難聴	H919	1
高血圧	I10	1
高血圧症	I10	1
高血圧性緊急症	I10	1
本態性高血圧	I10	1
狭心症	I209	1
急性心筋梗塞	I219	1
心臓心筋炎	I319	1
心臓弁膜症の疑い	I38	1
ウイルス性心筋炎	I400	1

地域連携室 (病名)	(ICD-10コード)	症例数
急性心筋炎	I409	1
左脚ブロック	I447	1
蘇生に成功した心停止	I460	1
心房細動	I490	1
うっ血性心不全	I500	1
心筋炎の疑い	I514	1
心筋炎疑い	I514	1
脳動静脈奇形破裂	I60.8	1
脳皮質下出血	I61.0	1
脳出血	I619	1
脳梗塞	I63.9	1
アテローム血栓性脳梗塞	I633	1
脳血管障害	I679	1
陳旧性多発性脳梗塞	I693	1
精索静脈瘤	I861	1
両精索静脈瘤	I861	1
起立性低血圧	I951	1
起立性低血圧症	I951	1
起立性眩暈	I951	1
急性上顎洞炎	J010	1
咽頭痛	J02.9	1
急性上気道炎	J069	1
細菌性肺炎	J159	1
副鼻腔炎	J329	1
咳喘息	J45.9	1
アレルギー性気管支炎	J450	1
誤嚥性肺炎	J690	1
急性呼吸不全	J9609	1
呼吸不全	J9699	1
口腔粘膜炎	K123	1

地域連携室 (病名)	(ICD-10コード)	症例数
舌痛症	K146	1
維持療法の必要な難治性逆流性食道炎	K210	1
急性胃粘膜病変	K250	1
胃びらん	K259	1
急性胃炎	K291	1
萎縮性胃炎	K294	1
上行結腸憩室炎	K573	1
肝硬変症	K746	1
脂肪肝	K760	1
肝機能障害	K769	1
自己免疫性膵炎	K861	1
頸部リンパ節炎	L040	1
モデルナアーム	L27	1
モデルナアーム + 多形紅斑	L270	1
限局性掻痒症	L29.8	1
体幹湿疹	L309	1
薬剤性蕁麻疹	L50.8	1
じんま疹	L509	1
結節性紅斑	L52	1
紅斑症	L53.9	1
円形脱毛症	L639	1
皮脂欠乏症	L853	1
スイート病	L982	1
予防接種後関節障害	M0229	1
RS3PE症候群	M0600	1
成人発症スチル<Still>病	M0610	1
Crowned-dens syndrome	M1128	1
左肩関節炎	M1311	1
両変形性膝関節症	M171	1

※上記の病名等の情報は、当該施設の「新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う患者の紹介に対応する窓口」に紹介があり、令和3年(2021年)2月1日から令和4年(2022年)5月31日までに受診した全患者をリストとし、本調査票の記載日時点までにおいて有効であった当該事例の病名(疑い病名は除く)について事務的に回答を求めたものを集計したものであり、ワクチンと無関係な病名を含みうることに留意。

(参考資料) 当該症状に係る初診日から直近の受診日までの全病名 (3/3)

(地域連携室宛調査)

地域連携室 (病名)	(ICD-10コード)	症例数	地域連携室 (病名)	(ICD-10コード)	症例数	地域連携室 (病名)	(ICD-10コード)	症例数
左肩関節拘縮	M2451	1	洞性頻脈	R000	1	慢性疼痛	R522	1
右肩関節痛症	M2551	1	動悸	R002	1	左大腿疼痛	R529	1
肩関節痛症	M2551	1	労作時呼吸困難	R060	1	倦怠感	R53	1
肘関節症	M2552	1	右前胸部痛	R072	1	無熱性けいれん	R56.8	1
両膝関節痛	M2556	1	左胸部痛	R072	1	重度痙攣発作	R568	1
右足関節痛	M2557	1	低酸素血症	R090	1	症候性痙攣発作	R568	1
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	M301	1	胸膜炎	R091	1	痙攣重積発作	R568	1
ANCA関連血管炎	M318	1	胸部不快感	R098	1	ショック	R579	1
シェーグレン症候群	M350	1	腹痛症	R104	1	リンパ節腫脹	R59	1
不全型ベーチェット病	M352	1	嘔吐症	R11	1	体重減少	R634	1
リウマチ性多発性筋痛	M353	1	胸部膨満	R14	1	悪寒	R688	1
頸椎症性脊髄症	M4712	1	手指先しびれ	R20.8	1	境界型糖尿病	R730	1
変形性頸椎症	M4782	1	感覚異常症	R202	1	高クレアチンキナーゼ血症	R748	1
胸椎脊髄神経根症	M5419	1	しびれ感	R208	1	右肩腱板損傷	S460	1
感染性筋炎疑い	M6009	1	左上肢しびれ	R208	1	右手掌挫創	S618	1
両肩関節周囲炎	M750	1	左上肢知覚異常	R208	1	右小指骨折	S6260	1
左肩インピンジメント症候群	M754	1	左知覚障害	R208	1	両四肢刺虫性皮膚炎	T634	1
線維筋痛症の疑い	M79.79	1	腋窩腫脹	R22.2	1	アナフィラキシーショック疑い	T782	1
肩部筋痛	M7911	1	左手背腫脹	R223	1	咽頭アレルギー	T784	1
頸部筋肉痛	M7918	1	硬結	R23.4	1	予防接種後副反応	T88.1	1
左下肢痛	M7966	1	振戦	R25.1	1	コロナワクチン副反応疑い	T881	1
右下肢痛	M7969	1	四肢脱力	R29.8	1	COVID-19	U071	1
複合性局所疼痛症候群	M8900	1	上肢脱力	R29.8	1	COVID-19肺炎	U071	1
左上筋頭腕腱鞘炎	MG6599	1	血尿	R31	1	COVID-19ワクチンによる副反応疑い	U12	1
ANCA関連腎炎	N017	1	めまい症	R42	1	COVID19ワクチン接種副反応	U12	1
急速進行性糸球体腎炎	N019	1	味覚障害	R432	1	COVID-19ワクチン接種副反応の疑い	U12	1
末期腎不全	N18.5	1	微熱	R509	1	COVID-19ワクチン副反応疑い	U12	1
慢性腎臓病ステージG2	N289	1	夜間性不明熱	R509	1	コロナ感染症	U12	1
尿路感染症	N390	1	急性疼痛	R52.0	1	COVID-19関連の多系統炎症性症候群	V109	1
男性更年期障害	N508	1	疼痛	R52.9	1	コロナワクチン副作用	該当なし	1

※上記の病名等の情報は、当該施設の「新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う患者の紹介に対応する窓口」に紹介があり、令和3年(2021年)2月1日から令和4年(2022年)5月31日までに受診した全患者をリストとし、本調査票の記載日時点までにおいて有効であった当該事例の病名(疑い病名は除く)について事務的に回答を求めたものを集計したものであり、ワクチンと無関係な病名を含みうることに留意。

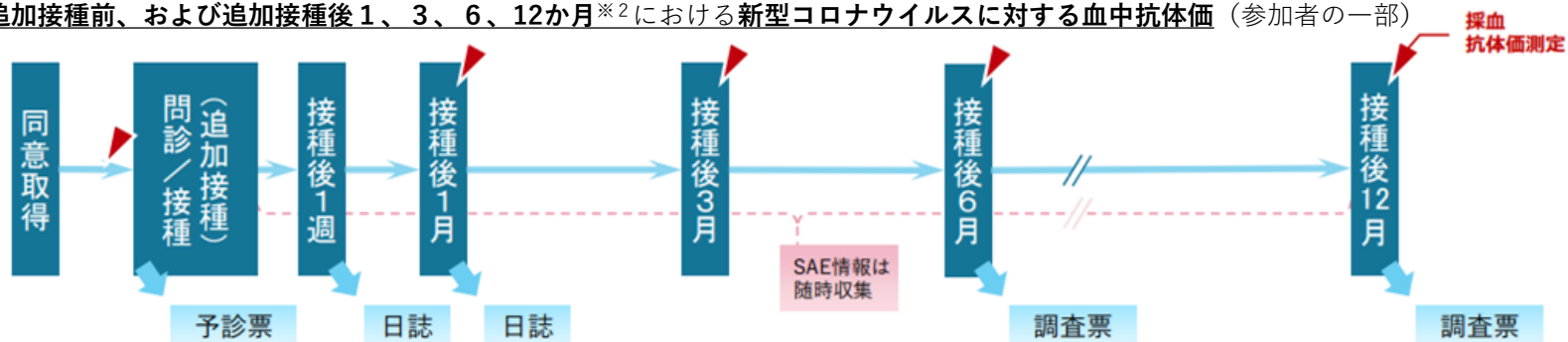
- 新型コロナワクチン接種後の遷延する症状に関する実態調査第二報（医師宛調査）において、症状の持続期間が31日、61日以上であった症例について調査結果の報告があったことも踏まえ、令和2年度厚生労働行政推進調査事業として実施した新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査（対象者：医療従事者等、ワクチンの種別等：コミナティ筋注、初回シリーズ）において、症状の持続期間が31日以上であったと報告された事例がどの程度存在したか、分析を行った。
- さらに、3回目以降の接種については、上記事業に加え、令和3年度新型コロナワクチン追加接種並びに適応拡大にかかわる免疫持続性および安全性調査（対象者：医療従事者等、ワクチンの種別等：初回接種コミナティ筋注またはスパイクボックス筋注、追加接種コミナティ筋注またはスパイクボックス筋注）において症状の持続期間が31日以上であったと報告された事例がどの程度存在したか、追加分析を行うこととした。

令和2年度新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査（コホート調査）および 令和3年度新型コロナワクチン追加接種並びに適応拡大にかかわる免疫持続性および安全性調査（コホート調査）

- 新型コロナワクチンの接種は予防接種法に基づく臨時接種の枠組みで実施し、短期的で多数の方に接種を行うことが見込まれるため、厚生労働科学研究として、臨時接種の対象となるワクチンについて先行的に接種する希望者を対象とする調査を行い、広く接種を実施する前の短期的な副反応情報等を収集・公表した。
- また、追加接種（3回目及び4回目）においても、臨時接種の対象となるワクチンについて、接種する希望者を対象とする調査を行い、主に接種4週間までの安全性等に関する情報について収集・公表した。

【主な調査項目】

- ① **ワクチン接種（3回目及び4回目接種）後28日（1か月）までに**発現した体温、接種部位反応、全身症状の有無、副反応疑い報告、SAE※¹（因果関係問わず）、胸痛発現時の詳細情報
- ② ①に加え、**追加接種後12か月までの**新型コロナウイルスの感染状況、副反応疑い報告、SAE※¹（因果関係問わず）
- ③ **ワクチン追加接種前、および追加接種後1、3、6、12か月**※²における**新型コロナウイルスに対する血中抗体価**（参加者の一部）



- ・ 調査参加者が記入する日誌は、各接種日を1日目として8日目まで毎日記入するほか、9日目以降はAE※¹があれば記入
- ・ 予診票、観察日誌は、回収後、各病院等においてシステム上に入力し、電子的に研究班事務局に提出
- ・ 採血は、事前に同意を得た一定数の参加者について実施。血中抗体価の測定は、研究班からの外部委託により行う。
- ・ 研究事務局は、収集したデータを集計・解析。結果は定期的に厚生労働省に報告するとともに、審議会において公表
- ・ 上記とは別に、対象となる事象が発生した場合には、予防接種法に基づく「副反応疑い報告」を速やかに実施

※1 「AE (Adverse Event)」とは、医薬品の使用と時間的に関連のある、あらゆる好ましくない、意図しない徴候、症状又は疾病のことであり、当該医薬品との因果関係の有無は問わない。例えば、ワクチン接種後に地震が発生して負傷した場合も、ワクチン接種との因果関係にかかわらず、時間的な関連があるためAEとして扱われる。「SAE (Serious Adverse Event)」は重篤なAEをいう。

※2 観察期間中にさらに追加的に接種を実施した場合は、当該接種後の抗体価測定は実施しない

令和2年度新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査及び令和3年度免疫持続性および安全性調査の追加分析の結果①

- 新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査及び新型コロナワクチン追加接種並びに適応拡大にかかわる免疫持続性および安全性調査において、症状の持続期間が31日以上であったと報告された事例がどの程度存在したか、分析を行った結果は以下のとおりであった。

- 本調査では、主要評価項目として日誌において、体温、接種部位反応、全身症状の有無、胸痛（追加接種のみ）に加え、AEについても広く情報を求めている。現時点で遷延する症状の実態は明らかでないが、遷延する症状の可能性として、31日以上持続する発熱、倦怠感、頭痛又はAEを認めたとする事例が、情報収集が可能であった上述の日誌2が回収できた者のうち何人存在したかについて分析した。

【初回接種】

- 1回目接種後の調査依頼に応じた人数19,806人のうち、日誌2が回収できた人数は19,784人であった。
- また、1回目接種後の調査依頼に応じた19,806人のうち、引き続いて2回目接種後の調査依頼に応じた人数は19,657人（調査離脱者149人）であり、この19,657人のうち日誌2が回収できた人数は19,542人であった。

【追加接種】

- 3回目接種後の調査依頼に応じた人数は4,576人であり、このうち日誌2が回収できた人数は4,323人であった。
- 4回目接種後の調査依頼に応じた人数は3,440人であり、このうち日誌2が回収できた人数は3,375人であった。

※3回目と4回目では接種及び調査の実施体制が異なるため、調査対象者も同一ではない



【初回接種】

- 1回目接種後の事例において、日誌2が回収できた19,784人のうち、10日目以降にも症状が持続した者は126人であり、このうち31日以上症状が持続したとして報告された事例は2例であった。なお、126人のうち、「症状の消失日時が確認できず、症状の持続期間が特定できない事例」は42例であった。
- 2回目接種後の事例において、日誌2が回収できた19,542人のうち、10日目以降にも症状が持続した者は211人であり、このうち31日以上症状が持続したとして報告された事例は、5例であった。なお、211人のうち、「症状の消失日時が確認できず、症状の持続期間が特定できない事例」は53例であった。

【追加接種】

- 3回目接種後の事例において、日誌2が回収できた4,323人のうち、10日目以降にも症状が持続した者は65人であり、このうち31日以上症状が持続したとして報告された事例は、5例であった。なお、65人のうち、「症状の消失日時が確認できず、症状の持続期間が特定できない事例」は16例であった。
- 4回目接種後の事例において、日誌2が回収できた3,375人のうち、10日目以降にも症状が持続した者は38人であり、このうち31日以上症状が持続したとして報告された事例は、1例であった。なお、38人のうち、「症状の消失日時が確認できず、症状の持続期間が特定できない事例」は13例であった。

令和2年度新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査及び令和3年度免疫持続性および安全性調査の追加分析の結果②

○ 新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査及び新型コロナワクチン追加接種並びに適応拡大にかかわる免疫持続性および安全性調査において、症状の持続期間が31日以上であったと報告された事例がどの程度存在したか、分析を行った結果は以下のとおりであった。

- 31日以上持続する発熱、倦怠感、頭痛又はAEを認めたとする事例が、情報収集が可能であった日誌2が回収できた者のうち何割存在したかについて分析を行った。
- 日誌2が回収できた者のうち、症状の持続期間が31日以上であったと報告された事例の割合は、1回目0.01%、2回目0.03%、3回目0.12%、4回目0.03%であった。

症状の持続期間が10日又は31日以上であったと報告された事例の割合

	日誌2回収数	10日以上持続割合		31日以上持続割合	
		人数	割合% (95%信頼区間)	人数	割合% (95%信頼区間)
1回目	19,784	126	0.64 (0.53 -0.76)	2	0.01 (0.00 -0.04)
2回目	19,542	211	1.08 (0.94 -1.23)	5	0.03 (0.01 -0.06)
3回目	4,323	65	1.50 (1.16 -1.91)	5	0.12 (0.04 -1.91)
4回目	3,375	38	1.13 (0.80 -1.54)	1	0.03 (0.00 -0.16)

症状の持続期間が31日以上であったと報告された事例

	初回シリーズ				3回目以降					
	年齢	性別	持続期間(日)	症状	年齢	性別	持続期間(日)	症状①	持続期間(日)	症状②
1回目	40歳	女性	39	頭痛*1	3回目	55歳	男性	32	倦怠感	
1回目	47歳	女性	67	三叉神経障害*2	3回目	26歳	男性	33	頭痛	
2回目	46歳	女性	35	頭痛	3回目	29歳	女性	32	咳嗽	
2回目	56歳	女性	46	関節痛	3回目	34歳	女性	59	頭痛	46 倦怠感
2回目	25歳	女性	31	頭痛	3回目	47歳	男性	52	口腔咽頭不快感	
2回目	53歳	女性	39	皮下出血	4回目	55歳	男性	365	感覚鈍麻	
2回目	30歳	女性	39	頭痛						

*1：2回目は接種、*2：2回目は未接種